

折板屋根作業の安全を親綱で確保する + ルーフキャッチャー ルーフキャッチャー用親綱支柱



ルーフキャッチャー用親綱支柱はルーフキャッチャーと併せて使用します。他の製品には取り付けられません。

特長

安全・安心作業

ハゼのある折板屋根で墜落制止用器具の取付け設備として性能・強度を持ち、屋根での作業を安全に行なえます。

様々な折板屋根に設置可能

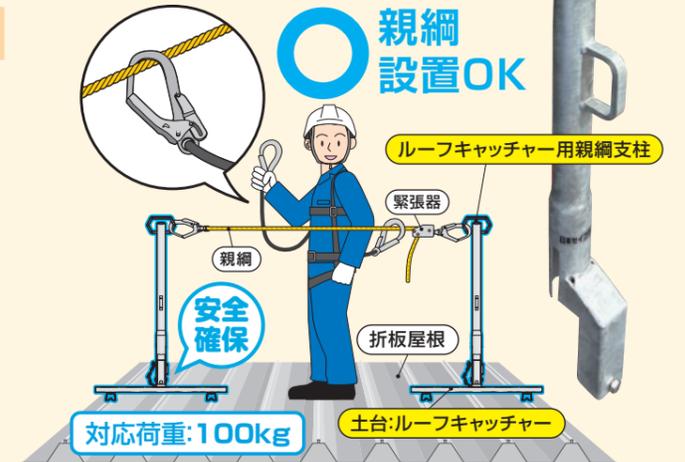
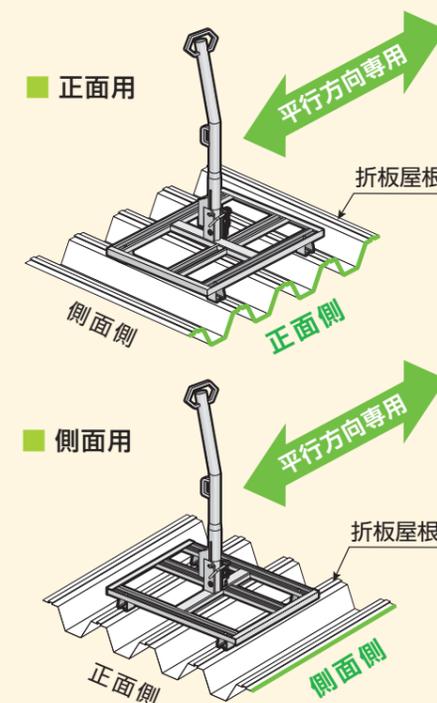
丸ハゼ、角ハゼタイプの折板屋根に取付けることができます。

屋根への負荷が少ない

ハゼ金具で挟み込んで固定するため、屋根面への負荷を最小限に抑え、インパクトレンチで簡単・迅速に設置できます。

屋根方向に合わせた2タイプ

正面用と側面用の2タイプあります。屋根の方向に合わせてご利用ください。



ルーフキャッチャー用親綱支柱あり



ルーフキャッチャー用親綱支柱なし



■ 総レンタル・販売元

日本セイフティー株式会社
NIHON SAFETY CO., LTD.
<http://www.nihonsafety.com>

本社 〒102-0082 東京都千代田区一番町21番地 一番町東急ビル11F
TEL.03-6369-2221 FAX.03-6369-2220
東日本第1営業部
東日本第2営業部
ラップボン事業部
大阪支店 〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目5-16 本町スクエアビルII
TEL.03-6369-2222 FAX.03-6369-2230
営業部
東北支店 〒989-1503 宮城県柴田郡川崎町川内北川原山228-5
TEL.06-6260-1122 FAX.06-6260-1123
名古屋支店 〒496-0026 愛知県津島市唐臼町二ツ池60番地
TEL.0567-33-0077 FAX.0567-33-0078
広島支店 〒731-0223 広島県広島市安佐北区可部南5丁目6番1号
TEL.0224-85-2331 FAX.0224-84-2333
四国支店 〒761-8031 香川県高松市郷東町577番地5
TEL.087-832-8181 FAX.087-832-8180
九州支店 〒811-2104 福岡県糟屋郡宇美町井野316番地585
TEL.092-957-6812 FAX.092-957-6813
札幌営業所 〒001-0915 札幌市北区新琴似町574-2
TEL.011-769-7631 FAX.011-769-7630
静岡営業所 〒421-0303 静岡県榛原郡吉田町片岡8番2
TEL.0548-32-6661 FAX.0548-32-3456

■ 製造元

プラスエム株式会社
PLUS M

■ 取扱い店



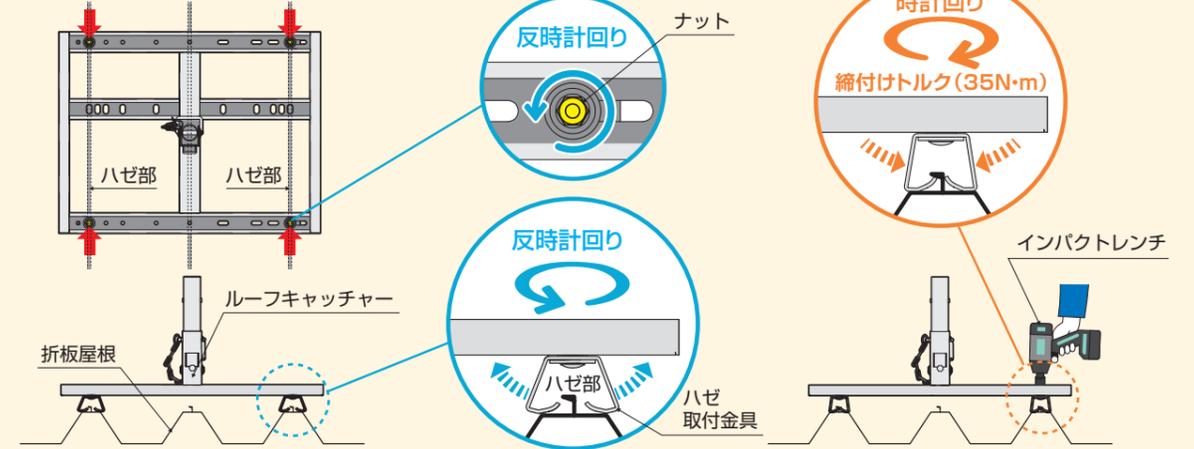
◆カタログ掲載商品について
このカタログの掲載内容は、2025年7月1日現在のものです。製品改良のため、仕様及び外観の一部を予告なく変更する場合があります。

ルーフキャッチャー用親綱支柱

設置手順

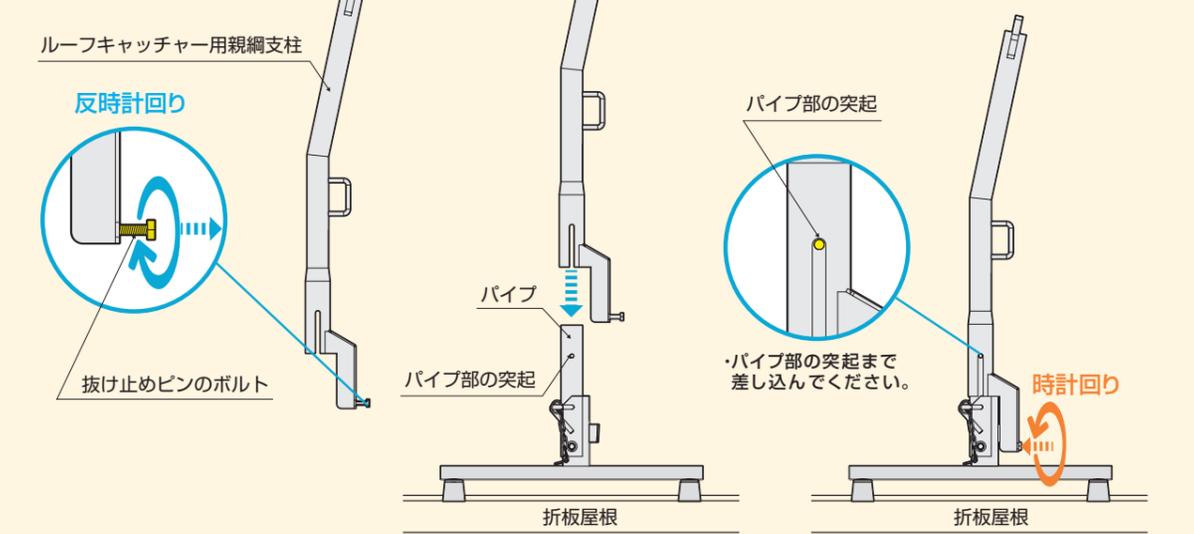
ルーフキャッチャーの設置手順

- ① ハゼ取付金具を取り付けた(4ヶ所)ルーフキャッチャーを仮置きしてください。ハゼ取付金具のナットは緩めておいてください。
- ② ハゼ取付金具の口を広げて、ハゼ部に噛ませるようにセットしてください。(4ヶ所)
- ③ ハゼ取付金具のナットをインパクトレンチで締付け固定してください。(4ヶ所)

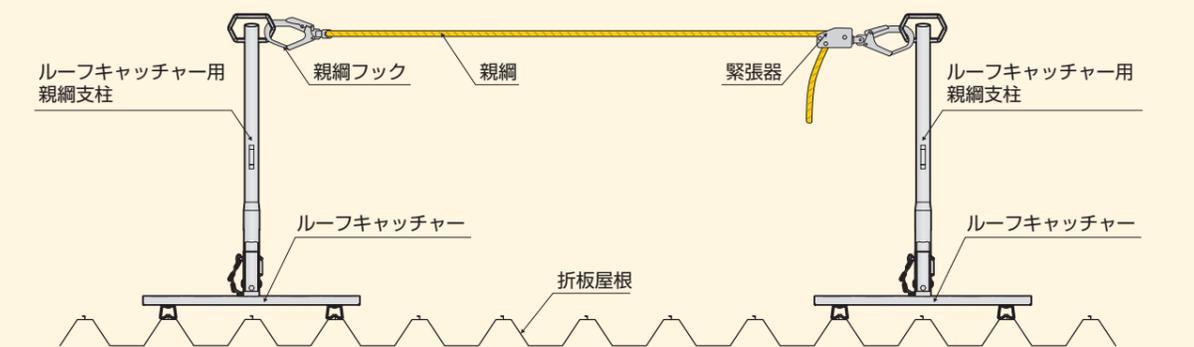


ルーフキャッチャー用親綱支柱の設置手順

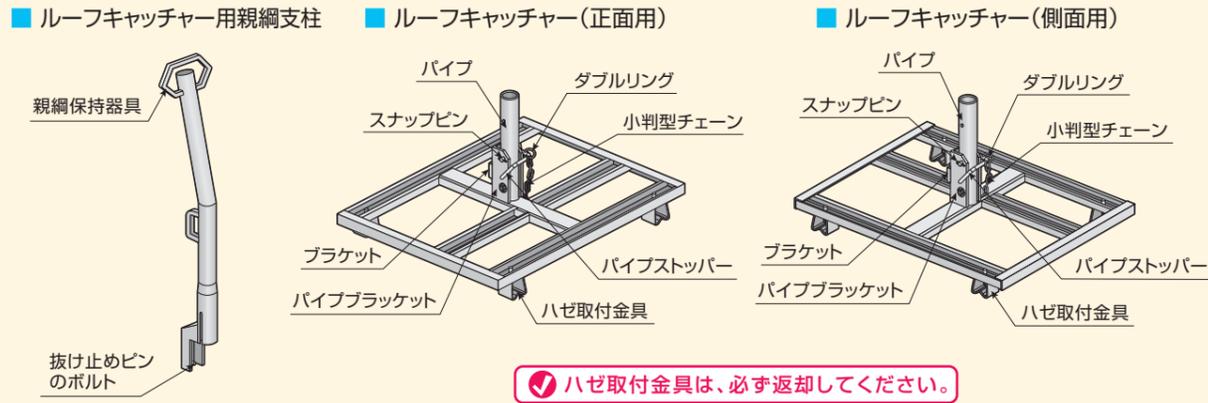
- ① 親綱支柱の抜け止めピンのボルトを緩めてください。
- ② 親綱支柱をルーフキャッチャーのパイプに差し込んでください。
- ③ 抜け止めピンのボルトを締め付けてください。



- ④ 親綱のフックを親綱支柱に取り付けてください。



各部の名称

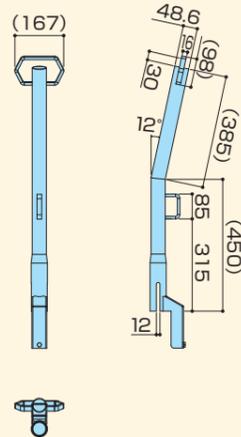


ハゼ取付金具は、必ず返却してください。

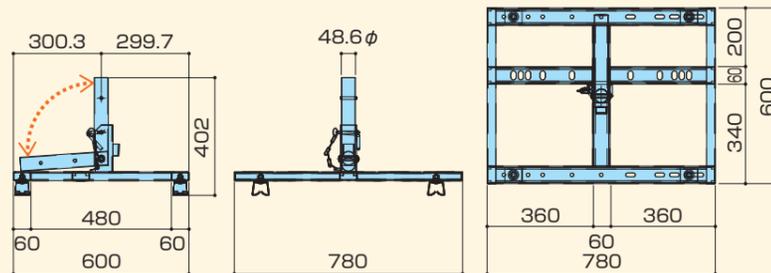
寸法図

(単位mm)

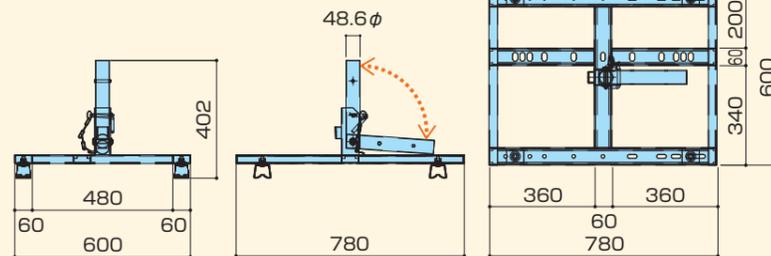
ルーフキャッチャー用親綱支柱 (重量3.52kg)



ルーフキャッチャー正面用 (重量9.6kg)



ルーフキャッチャー側面用 (重量9.6kg)



ご使用前の点検

お使いになる前には、必ず下記の点検を行い、異常の無いことを確認してください。異常があったときは使用しないでください。

- ① ルーフキャッチャー用親綱支柱およびルーフキャッチャーに曲がり・ねじれ・へこみがありませんか。ある場合は絶対に使用しないでください。
- ② 各部の接合部に破損・亀裂・変形・著しい腐食がありませんか。ある場合は絶対に使用しないでください。
- ③ ダブルリング・小判型チェーンが外れていませんか。外れている場合は絶対に使用しないでください。
- ④ パイプがスムーズに回転できますか。スムーズに回転できないときは、ごみ等の噛み込みがないか点検し、あれば取り除いてください。
- ⑤ ハゼ取付金具のゆるみやガタツキがありませんか。ガタツキがある場合は外れが考えられますので絶対に使用しないでください。

使用条件

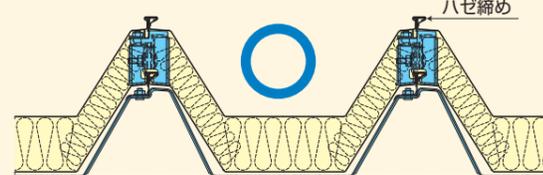
【設置可能ハゼ式折板屋根形状 及び 屋根材メーカー】

対応メーカー：稲垣商事(株)、片山鉄建(株)、(株)協和、三晃金属(株)、(株)セキノ興産、月星商事(株)、日鉄住金鋼板(株)ビルトマテリアル(株)、(株)淀川製鋼所
 対応サイズ：@250、@300、@333、@364、@418、@455、@500、@550、@600、@650 (mm)
 ※丸ハゼ、角ハゼともに設置可能です。

■ ハゼ締めタイプ (設置できる)



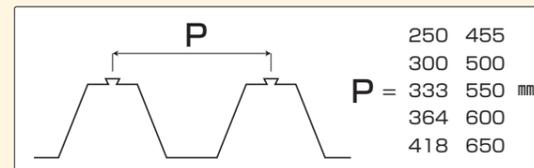
■ ハゼ締め2重葺きタイプ (設置できる)



設置できるハゼ締めの種類

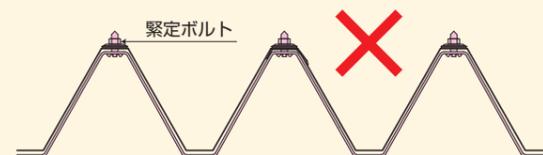


使用できるハゼ間ピッチ



- ルーフキャッチャー本体の設置面(取付面)の強度については、当社責任の範囲外となります。強度確認の上ご使用ください。
 ※参考値:ハゼ取付け金具1か所当たり引張許容荷重:4.99kN
- キズやへこみ、錆による腐食等、強度の劣化が見込まれる金属折板屋根には設置する事は出来ません。
- ハゼ式折板屋根に設置する場合、ハゼ締めが未完了のときは使用しないでください。
- 薬品や蒸気等が絶えず噴出している場所に関しては、腐食や劣化状況の確認をして適切な対応(交換等)を行ってください。

■ 重ねタイプ (使用できない)

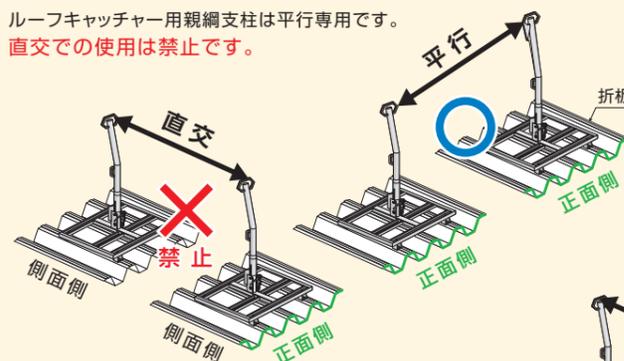


■ 嵌合(かんごう)タイプ (設置できない)



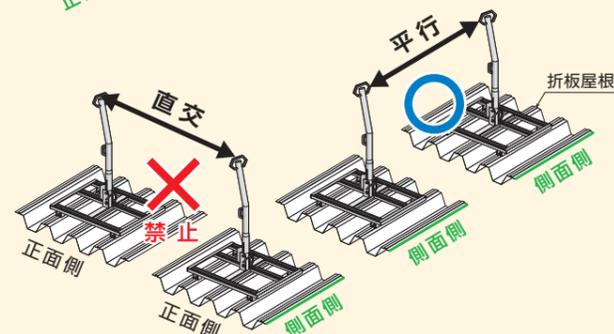
■ 正面用

ルーフキャッチャー用親網支柱は平行専用です。
直交での使用は禁止です。



■ 側面用

ルーフキャッチャー用親網支柱は平行専用です。
直交での使用は禁止です。

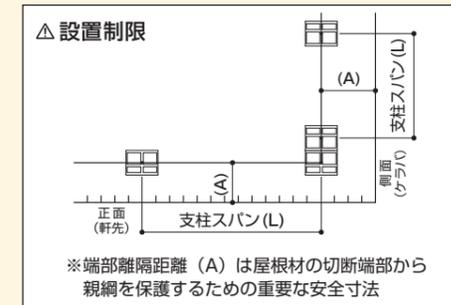


△ 設置時の注意事項

- 設置前に製品各部に変形・摩耗や作動に異常のないことを確認してください。
- 支柱の取付スパンは10m迄としてください。
 支柱の取付スパン(L)と端部離隔距離(A)は以下表(表1)の値を厳守してください。

(表1)

スパン(L)	端部離隔距離(A)	軒高
5m	1.5m 以上	6m 以上
6m	2.0m 以上	
7m	2.5m 以上	
8m	3.0m 以上	
9m	3.5m 以上	
10m	3.5m 以上	

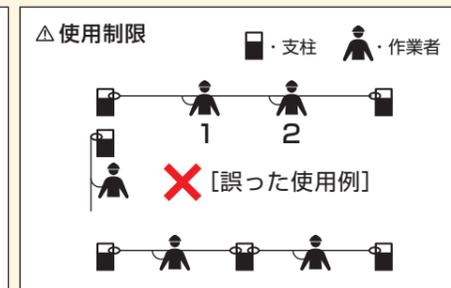


※最大スパンは10m迄

- 適用可能な屋根勾配:10%以下
- 支柱用親網に初期緊張を与える際は、過剰な張力をかけないでください。
 ※張力がかかり過ぎると本体ベース部が変形する恐れがあります。

△ 使用時の注意事項

- 支柱用親網・緊張器は仮設工業会認定品を使用してください。
- 支柱用親網に損傷や摩耗等がないことを確認してください。
- 1スパンにつき1人で使用してください。(対応荷重:100kg)
- 親網を連続で設置している場合は、使用者間の間隔を1スパン以上空けてください。
- 安全ネットの取付けは禁止です。
- 墜落制止用器具は織ロープ式ランヤードを使用し、長さは1.7m以内にしてください。
- 支柱に直接、墜落制止用器具ランヤードのフックを取付けしないでください。



△ 安全のために必ず守っていただきたいこと

身体が下記の状態のときは転倒やけがの恐れがあるため使用しないでください。

- ・疲れているとき
- ・葉やお酒を飲んだとき
- ・病气や妊娠しているとき
- ・身体に異常を感じるとき

ご使用前には必ず「ご使用前の点検」を行い、異常のないことを確認してください。

持ち運ぶときは、周囲にご注意ください。ルーフキャッチャー用親網支柱およびルーフキャッチャーがぶつかることによる傷害事故・物損事故を起こす恐れがあります。

ルーフキャッチャー用親網支柱およびルーフキャッチャーは電気を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる危険があります。設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意してください。

ルーフキャッチャー用親網支柱およびルーフキャッチャーを固定するとき、確実にボルトおよびナットを締めつけてください。固定が不十分だと固定箇所から外れて傷害事故・物損事故を起こす恐れがあります。

ルーフキャッチャーを固定する前に上に物を置かないでください。ルーフキャッチャーごと滑り落ちて重大な事故を起こす恐れがあります。

パイプを回動するときに、可動部に手をはさまないように注意してください。怪我をする恐れがあります。

乱暴に扱わないでください。変形や破損により重大な事故につながる恐れがあります。

ルーフキャッチャー用親網支柱およびルーフキャッチャーを加工や改造しないでください。重大な事故をおこす恐れがあります。

作業時は必ず墜落制止用器具を使用してください。